

1. 理事会からのお知らせ

(1) 代表理事挨拶

フェローの皆様および関係者の方々におかれましては平素から TCER の活動に多大なるご支援とご協力を賜り、感謝申し上げます。代表理事となつてからはや1年近くが経ちました。TCER の活動は、幹事校こそ東京大学に移りましたが、例年通り順調に行われました。最近の TCER の事業につきまして近況をいくつかご報告いたします。

まず、NBER、CPER、TCER が共同で開催してきた TRIO コンファレンスにつきましては、「コーポレート・ガバナンス」をテーマとしたコンファレンスの第一弾を、昨年12月に日本政策投資銀行・設備投資研究所の協力を得て開催し、活発な議論が展開されました。今年は6月にその第二弾を Franklin Allen らこの分野のトップクラスの研究者を招いて開催する予定です。近年、世界各国で企業に対するガバナンスのあり方が改めて問われています。このため、コーポレート・ガバナンスのあり方を学術的に検証することは重要なテーマです。報告論文は、Journal of the Japanese and International Economics (JJIE) の特集号として今年12月に刊行する予定となっています。

また、TCER=ERIA 出版事業では、ERIA (東アジア・アセアン経済研究センター) の委託を受け、木村福成教授 (慶應義塾大学) と浦田秀次郎教授 (早稲田大学) が中心に「東アジアの経済統合」と題する出版事業を行っています。本出版事業は、生産工程・タスク単位の国際分業を生かした新たな開発戦略を実践するアセアン・東アジアの現状を最新の理論動向を踏まえながら分析した成果を出版するものです。昨年に1冊目 (第7巻「ASEANの自動車産業」) の刊行を果たしたのに引き続き、今年は2冊目 (第6巻「タイ・プラスワンの企業戦略とその課題」)、3冊目 (第1巻「ASEAN経済共同体に向けて:経済統合の現状」) が頸草書房により出版される見通しとなっております。

さらに今年3月30日と31日には、TCER ジュニア・ワークショップの一環として、第1回金融ジュニア・ワークショップを東京大学金融教育研究センターの協力を得て東京大学で開催します。本事業は、大学院生および若手教員・研究員に現在行っている研究内容を報告してもらい、それに「金融」を専門とするシニアの教員がコメントを行う形式のワークショップです。若手研究者のなかには、潜在的には重要な着想を持ちながらも、それを国際学術誌に刊行可能な形で研究論文としてまとめ上げるのに苦労する人は少なくないと思います。そのような若手研究者にシニアの研究者が建設的なコメントやアドバイスをすることを通じて、日本の金融研究の将来を担う若手研究者を育成することを目的としています。金融に関連したさまざまなテーマに関して、大学院生やポスドク合計16名が報告する予定で、活発な議論が行われることが期待されています。

世界経済は、英国でEU (欧州連合) からの離脱が決定し、米国で保護主義を謳うトランプ政権が誕生するなど、ここにきて不確実性はむしろ深まっています。新興国も、数年前までの勢いはありません。日本経済は、足元では株価が回復基調にあるものの、

中長期的には少子高齢化の進展や財政赤字の累積など多くの政策課題を抱えています。今後も TCER は、このような世界経済の情勢や日本経済が直面する諸課題について検討すべく、最新の研究成果について議論を深め、必要な知見の蓄積に貢献することを目指して活動してまいりたいと考えております。引き続き TCER の活動にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

福田慎一（代表理事・東京大学）

（2）2016年度後半の理事会報告

2016年8月に「TCER=TIFO フェローシップ事業の事業計画の変更」の件について代表理事より提案があり、理事全員の同意と監事全員の確認を得て、9月1日（木）、書面による理事会の決議がなされました。2016年度は当該事業を実施しないこと、および2017年度分より募集・審査時期を変更し、フェローシップの条件も一部変更することが承認されました。

2016年度第2回理事会は、2017年2月1日（水）15時30分～17時00分、飯田橋のTCER事務所において開催されました。平成29年度の事業計画書及び平成29年度の予算書が承認されました。寄附者が用途を特定していない寄附金について、公益目的事業に要する経費に充てる割合、平成29年度投資方針書および平成28年度の特定期限の取得についても承認されました。また、5名の新規フェローの入会も承認されました。TCERワーキング・ペーパーのエディター任期満了、TCERフェローに関する規程の改定およびホームページ更新作業の外部委託についても承認されました。報告事項として、本年度の事業の執行状況について説明がありました。

（3）2016年度後半の評議員会報告

2016年度第2回評議員会は、2017年2月13日（月）17時～17時45分、日本工業倶楽部で開催されました。平成29年度の事業計画書及び平成29年度の予算書が承認されました。

（4）所属先変更のご連絡のお願い

今年度中に所属先が変更になった方、新年度から変更になる方は、お手数をおかけしますが、TCER事務局（tcer@mbs.sphere.ne.jp）までご連絡下さい。また、メールアドレスの変更を希望なされるフェローも同様に事務局までご連絡ください。

必要事項は、氏名（フリガナ）、所属先、所属先住所（郵便番号）、電話番号、メールアドレスとなります。

（5）2017年度研究助成のお知らせ（フェロー以外も応募可能）

TCERでは、毎年、個人研究助成を行っています。日本国内の経済学研究者であれば、

TCER フェローに限らずどなたでも応募することができます。

本制度設立の趣旨：本研究助成制度は、TCER フェローを含む若手研究者の個人及び相互による経済学に関わる理論・実証面での萌芽的研究を支援することを目的としています。

応募資格：日本国内の大学および研究機関に所属する経済学研究者。ただし、同一テーマで過去 3 年以内に助成を受けた方（共同研究者である場合も含む）は応募できません。

助成対象期間：2017 年 4 月～2018 年 3 月

報告義務：2018 年 3 月末までに所定の様式に従って研究成果報告書を提出するとともに、研究成果を東京経済研究センターワーキング・ペーパーとしてまとめていただきます。これは RePEc や SSRN の TCER リサーチペーパーシリーズにも入ることになります（ただし、研究成果の提出は 2019 年 3 月末まで延長できます）。

助成金額：1 件当たり最高 40 万円

応募締め切り：2017 年 4 月 17 日（月）午前 9 時

応募用紙：所定の応募用紙に入力し、Word ファイルをメールに添付して提出

応募先：TCER 事務局（tcer@mbs.sphere.ne.jp）

2. コンファレンスご案内・報告

公1 国際的学術研究・交流事業

(1) 日米欧研究交流事業 (TRIO コンファレンス) 報告

東京経済研究センター (TCER) は、東京大学金融教育研究センター (CARF) と設備投資研究所のサポートを受けて、2016 年 12 月 8 日 (木)～9 日 (金) に大手町フィナンシャルシティ 3 階 コンファレンスセンター 会議室で、全米経済研究所 (NBER) と欧州経済政策研究センター (CEPR) と共同で行う年次国際学術会議“26th NBER-TCER-CEPR conference (TRIO conference)”を開催しました。今回のテーマは、「コーポレート・ガバナンス」でした。近年、企業に対するコーポレート・ガバナンスのあり方が改めて問われています。特に、コーポレート・ガバナンスが十分に機能しないことによって、世界的に企業の資金余剰が膨らみ、本来は設備投資など成長資金に使われるべきお金が、収益性の低い安全資産で退蔵され、成長率を低めているという指摘もあります。このため、コーポレート・ガバナンスのあり方を本格的に検証することは、世界経済の成長戦略を考える上で重要な政策テーマとなっています。

8 日 (木) 午後から 9 日 (金) 午前にかけて行われた TRIO conference では、国内外

から参加した6名のスピーカーがコーポレート・ガバナンスに関する基調講演と研究報告を行い、指定討論者やオーディエンスとの間で活発な討論が交わされました。報告論文は、レフェリーによる審査を経て、国際学術誌 *Journal of the Japanese and International Economies* (JJIE)に刊行予定です。プログラムは、以下の通りです。

PROGRAM

Thursday, December 8

Chair: Hideaki Miyajima (Waseda University)

1:10 pm Keynote speech I

Marc Goergen (Cardiff Business School, Cardiff University, UK)

Sovereign Wealth Funds, Productivity and People: The Impact of Norwegian Government Pension Fund-Global Investments in the UK (joint with Noel O'Sullivan, Geoffrey Wood, and Marijana Baric)

2:10 pm Break

Chair: Yoshiaki Ogura (Waseda University)

2:20 pm Elizabeth Motta and Konari Uchida (Kyushu University)

Institutional Investors, Corporate Social Responsibility, and Stock Price Performance

Discussant: Shing-yang Hu (National Taiwan University, Taiwan)

3:20 pm Hideaki Miyajima (Waseda University), Ryo Ogawa (Waseda University), and Takuji Saito (Keio University)

The Presidential Turnover and the Changes of Governance Arrangement

Discussant: Marc Goergen (Cardiff Business School, Cardiff University, UK)

4:20 pm Break

Chair: Junichi Nakamura (Development Bank of Japan)

4:30 pm Konan Chan (National Chengchi University, Taiwan), Hung-Kun Chen (Tamkang University, Taiwan), Shing-yang Hu (National Taiwan University, Taiwan), and Yu-Jane Liu (Peking University, China)

Share Pledges and Margin Call Pressure

Discussant: Heather A. Montgomery (International Christian University)

5:30 pm Adjourn
6:30 pm Group Dinner

Friday, December 9

Chair: Takeo Hoshi (Stanford University, NBER, and TCER)

9:30 am Keynote speech II

Vikrant Vig (London Business School, UK)

The Political Economy of Bank Bailouts (joint with Markus Behn, Rainer Haselmann, and Thomas Kick)

10:30 am Break

Chair: Shin-ichi Fukuda (University of Tokyo and TCER)

10:40 am Naoshi Ikeda, Kotaro Inoue, and Sho Watanabe (Tokyo Institute of Technology)

Enjoying Quiet Life Under The Umbrella of Cross-shareholding

Discussant: Masaharu Hanazaki (Hitotsubashi University)

11:40 am Adjourn

公2 学術研究交流促進事業

(1) 『国際経済学のフロンティア』出版報告

2016年9月に東京大学出版会より、2013・2014年度TCERコンファレンス(担当:木村福成先生)の成果をとりまとめた『国際経済学のフロンティア』が出版されました。

(2) ミクロ経済分析事業(2016年度TCERミクロコンファレンス・DCコンファレンスとの共同開催)報告

2016年度TCERミクロコンファレンスは、第22回ディセントラライゼーション(DC)コンファレンスと共催で、2016年8月10日(水)に龍谷大学深草キャンパスにて行われました。

コンファレンスの内容については、11本の投稿論文報告と招待講演によって構成された。投稿論文の報告は、(1)9時30分から11時、(2)11時20分から12時20分、(3)13時50分から15時20分、(4)15時40分から17時10分、の4つの時間帯に分かれ、シングルセッション方式で行われました。招待講演は、栗野盛光氏(筑波大学)によるマ

ーケットデザインに関する研究報告が17時30分から18時30分まで行われました。参加者数は約40名で、どの報告に対しても活発な議論が繰り広げられ、大変有意義なコンファレンスとなりました。

なお、プログラム委員は梶井厚志(京都大学)、坂井豊貴(慶應義塾大学)、関口格(京都大学)、中林純(近畿大学)、兵庫一也(龍谷大学)、若山琢磨(龍谷大学・オーガナイザー)が務めました。

<プログラム>

午前の部 (1) (和顔館地下1階 B104 教室) 司会: 宮川 敏治 (大阪経済大学)

9:30-10:00 関口 格 (京都大学経済研究所)

Repeated Games with Recursive Utility: Cournot Duopoly under Gain/Loss Asymmetry

10:00-10:30 七條 達弘 (大阪府立大学経済学研究科)

Cost sharing mechanism for a good with positive or negative network externalities

10:30-11:00 千葉 早織 (京都大学経済学研究科)

Cheap Talk with Countervailing Conflicts of Interest

11:00-11:20 コーヒーブレイク

午前の部 (2) (和顔館地下1階 B104 教室) 司会: 中林 純 (近畿大学)

11:20-11:50 上代 雄介 (関東学院大学経済学部)

Information and Small Group Effectiveness in Large Quasilinear Economies

11:50-12:20 篠原 隆介 (法政大学比較経済研究所)

Inducing self-representation in interregional bargaining over local public projects: Subsidy schemes with the Lindahl price

12:20-13:50 ランチブレイク

午後の部 (1) (和顔館地下1階 B104 教室) 司会: 関口 格 (京都大学)

13:50-14:20 松井 潤 (早稲田大学大学院経済学研究科)

Designing responsibility-sensitive egalitarian tax

14:20-14:50 湯川 隼貴 (東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程)

A Finite Bottleneck Game with Homogeneous Commuters

14:50-15:20 塩澤 康平 (大阪大学大学院経済学研究科、日本学術振興会特別研究員 (PD))

Strategy-Proof Probabilistic Mechanisms for Public Decision with Money

15:20-15:40 コーヒーブレイク

午後の部 (2) (和顔館地下1階 B104 教室) 司会: 井上 朋紀 (明治大学)

15:40-16:10 金子 守 (早稲田大学政治経済学術院)

Expected Utility Theory with Bounded Probability Nets

16:10-16:40 細矢 祐誉 (関東学院大学経済学部)

The Recoverability Revisited

16:40-17:10 井上 朋紀 (明治大学政治経済学部)

Upper Hemi-continuity of the Walras Correspondence for Economies with Bads

17:10-17:30 コーヒーブレイク

招待講演 (和顔館地下1階 B104 教室) 司会: 若山 琢磨 (龍谷大学)

17:30-18:30 栗野 盛光 (筑波大学システム情報系)

College Admissions with Entrance Exams: Centralized versus Decentralized

(3) マクロ経済分析事業 (2016年度 TCER マクロコンファレンス) 報告

第18回マクロコンファレンスは、2016年11月26日(土)・27日(日)に大阪のホテル阪急エキスポパークで行われました。第1日に3本、第2日に5本の論文が報告されました。近年のマクロ経済学における問題意識の多様化の流れを反映して、論文のテーマも多岐にわたりました。特に、金融政策の問題に関心が集中しがちだった最近の本大会と比べると、その傾向は顕著でした。本コンファレンスでは、討論者による議論の時間とフロアからの質疑応答の時間を充分にとりました。どの討論者も主催者の期待に応じて、論文の背景・内容を分かりやすく整理したうえで、分厚い議論を展開してくれました。そのためフロアのディスカッションも非常に活発に行われ、議論の水準も非常に高いものでした。プログラムは以下の通りです。

【プログラム】

第18回マクロコンファレンス

2016年11月26日(土)、27日(日)

ホテル阪急エキスポパーク

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園1-5

オーガナイザー (代表): 阿部修人 (一橋大学)、小野善康 (大阪大学)、櫻川昌哉 (慶應義塾大学)、渡辺努 (東京大学)

プログラム委員：青木浩介（東京大学）、小川一夫（大阪大学）、路悦朗（一橋大学）、寺西勇生（慶應義塾大学）

主催：TCER（東京経済研究センター）、慶應義塾大学経済学部、東京大学金融教育研究センター、一橋大学経済研究所経済社会リスク研究機構、大阪大学社会経済研究所 基盤研究（S）

フォーマット：論文報告 20 分、コメント 20 分、フロアからの質疑応答 30 分

使用言語：特に記載のない限り、オーディエンスの中に日本語を話されない方がいらっしゃる場合は英語、そうでなければ日本語。

11 月 26 日（土）

13:30 開場・受付開始

第 1 セッション：DSGE モデルと金融政策分析の新展開（1）

座長 阿部修人（一橋大学）

14:00-15:10 源間康史（日本銀行・一橋大学）

"Trend Inflation and Evolving Inflation Dynamics: A Bayesian GMM Analysis of the Generalized New Keynesian Phillips Curve" (Takushi Kurozumi、Mototsugu Shintani との共著)

討論者：敦賀貴之（京都大学・内閣府）

第 2 セッション：DSGE モデルと金融政策分析の新展開（2）

座長 青木浩介（東京大学）

15:30-16:40 一上響（日本銀行）

"A Macroeconomic Forecast-implied Shadow Rate and Unconventional Monetary Policy Effects" (Yoichi Ueno との共著)

討論者：小枝淳子（早稲田大学）

16:40-17:50 片山宗親（京都大学）

"Uncertainty Shocks and the Relative Price of Investment Goods"(Kwang Hwan Kim との共著)

討論者：陣内了（一橋大学）

18:00- ディスカッション

第 1 日目の総括 小野善康（大阪大学）

11 月 27 日（日）

第 3 セッション：長期停滞

座長 櫻川昌哉 (慶應義塾大学)

9:00-10:10 小林慶一郎 (慶應義塾大学)

"Debt-Ridden Borrowers and Productivity Slowdown" (Daichi Shirai との共著)

討論者：脇雄一郎 (クイーンズランド大学)

第4セッション：ミクロ理論とマクロ経済

座長 塩路悦朗 (一橋大学)

10:30-11:40 奥田達志 (日本銀行)

"A Guide Toward Targeted Inflationary Equilibrium: An Evolutionary Game Theory Approach"

(Yasushi Asako との共著)

討論者：尾山大輔 (東京大学)

11:40-12:50 藤木裕 (中央大学)

"Choice of Collateral Asset and the Cross-Border Effect of Automatic Stays" (Charles M. Kahn

との共著)

討論者：小佐野広 (京都大学)

第5セッション：金融とマクロ経済

座長 寺西勇生 (慶應義塾大学)

14:00-15:10 植杉威一郎 (一橋大学)

"Adverse Selection versus Moral Hazard in Financial Contracting: Evidence from Collateralized and Non-collateralized Loan Contracts" (Hirofumi Uchida、 Hiromichi Iwaki との共著)

討論者：清水克俊 (名古屋大学)

15:10-16:20 小野有人 (中央大学)

"Long-term Interest Rates and Bank Loan Supply: Evidence from Firm-bank Loan-level Data"

(Kosuke Aoki、 Shin-ichi Nishioka、 Kohei Sintani、 Yosuke Yasui との共著)

討論者：細野薫 (学習院大学)

(4) 若手研究者育成支援事業 (2016年度ジュニアワークショップ) お知らせ

東京経済研究センター (TCER) は、東京大学金融教育研究センター (CARF) と共催で「第1回金融ジュニア・ワークショップ」を2017年3月30日 (木) と31日 (金) の両日、東京大学小島ホールで開催の予定です。本ジュニア・ワークショップは、大学院生および若手教員・研究員 (大学院修了から3年以内) に現在行っている研究内容を報告してもらい、それに「金融」を専門とするシニアの教員がコメントを行う形式のワークショップです。若手研究者のなかには、潜在的には重要な着想を持ちながらも、そ

れを国際学術誌に刊行可能な形で研究論文としてまとめ上げるのに苦勞する人は少なくないと思います。本ジュニア・ワークショップでは、そのような若手研究者にシニアの研究者が建設的なコメントやアドバイスをすることを通じて、日本の金融研究の将来を担う若手研究者を育成することを目的としています。

(5) 2017年度 TIFO=TCER フェローシップ報告

本フェローシップは、東南アジアに本拠を置く経済学研究者と日本の経済学研究者との間での、日本を含めた経済問題に関する共同研究を促進することを目的とし、公益財団法人東芝国際交流財団からの助成を受けて、東南アジアに本拠を置く経済学研究者を3週間から3カ月程度日本に呼び寄せる資金を提供するもので、2013年度に開始された事業です。

2016年度に制度設計の見直しを行い2017年度分を2016年9月～12月に募集したところ、2件の応募があり、うち1件を採択しました。

受給者：青山学院大学 松本茂氏

テーマ：「輸入農産物の安全・安心を求めて：消費者の食品信頼属性評価に関する国際比較」

共同研究者：Viet Ngu (Vincent) Hoang (ビンセント ホン) 氏

Queensland University of Technologies (QUT) Senior Lecturer

(6) TCER 定例研究会 (2016年度 TCER 研究会) 報告

2017年度のTCER研究会は東京大学にて行われ、今年度後半の開催は以下の通りでした。なお、TCER定例研究会にはフェローの方はいつでも参加できます。

第39回 8月4日(木) 14:55～16:40

※みずほフィナンシャルグループ寄付講座と共催

清滝信宏 (Princeton University)

Monetary and Financial Policies in Emerging Markets

第40回 8月18日(金) 12:00～13:10 ～ 19日(土) 10:00～17:05

The Osaka Workshop on Economics of Institutions and Organizations

The 100th meeting: Tokyo Conference

第41回 8月31日(水) 16:00～18:30

1) 16:00-17:10

Rajiv Sarin (University of Exeter)

A Model of Satisficing

2) 17:20-18:30

Brit Grosskopf (University of Exeter)

Do you mind me paying less? Measuring Other-Regarding Preferences in the Market for Taxis (joint with Graeme Pearce)

第42回 9月8日(木) 16:50~18:35

Julian di Giovanni (Universitat Pompeu Fabra)

International Spillovers and Local Credit Cycles

第43回 9月13日(火) 16:50~18:35

M. Utku Ünver (Boston College)

Multi-Donor Organ Exchange (joint with Haluk Ergin and Tayfun Sönmez)

第44回 9月15日(木) 14:55~16:40

Chris Edmond (University of Melbourne)

Industry dynamics with variable markups

第45回 9月20日(水) 16:50~18:35

John Quah (Johns Hopkins University and National University of Singapore)

A Comprehensive Approach to Revealed Preference Theory (joint with Hiroki Nishimura and Efe A. Ok)

第46回 9月21日(水) 16:50~18:35

Hashmat Khan (Carleton University)

Monetary News Shocks (joint with Nadav Ben Zeev and Christopher Gunn)

第47回 9月27日(火) 16:50~18:35

※ミクロ経済学ワークショップとマクロ経済学ワークショップの共催

Joseph Zeira (The Hebrew University of Jerusalem)

A New Measure of Divergence (joint with Michele Battisti, Gianfranco di Vaio)

第48回 9月29日(木) 16:50~18:35

Sebastian Zelner (University of Regensburg)

The Allocation of Talent to Financial Trading versus Production: Welfare and Employment Effects in General Equilibrium

第49回 10月4日(火) 16:50~18:35

酒井真世(東京大学)

Referral Hiring of Miners: Case from the Coal Industry in Early Twentieth Century Japan

第50回 10月6日(木) 16:50~18:35

齊藤誠(一橋大学)

On large-scale money finance in statistics and practice: A case of the Japanese economy during and after World War II

第51回 10月11日(火) 12:10~13:25

Stefano Lovo (HEC Paris)

Zero-sum Revision Games (joint with Fabien Gensbittel, Jérôme Renault and Tristan Tomala)

第 52 回 10 月 11 日 (火) 16:50~18:35

Liran Einav (Stanford University)

Provider Incentives and Health Care Costs: Evidence from Long-Term Care Hospitals (joint with Amy Finkelstein and Neale Mahoney)

第 53 回 10 月 13 日 (木) 16:50~18:35

高橋耕史 (University of California, San Diego)

Unconventional Monetary Policy and Bank Lending (joint with Kiyotaka Nakashima and Masahiko Shibamoto)

第 54 回 10 月 18 日 (火) 16:50~18:35

※CARF 『バブル、金融危機と政策対応研究会』と共催

Joel David (University of Southern California)

Capital Misallocation: Frictions or Distortions? (joint with Venky Venkateswaran)

第 55 回 10 月 20 日 (木) 15:00~16:30

Miguel Leon-Ledesma (University of Kent)

The rise of the service economy and the real return on capital

第 56 回 10 月 20 日 (木) 16 : 50~18 : 35

Toan Phan (The University of North Carolina at Chapel Hill)

Asset Pledgeability and Endogenously Leveraged Bubbles

第 57 回 10 月 21 日 (金) 14:55~16:40

※主催 : 金融センター特別セミナー

Andrew Levin (Dartmouth College)

Robust Design Principles for Monetary Policy Committees

第 58 回 10 月 21 日 (金) 17:00~18:30

主催 : 都市経済ワークショップ

共催 : 公共政策大学院 国際交通政策研究ユニット (ITPU)

Clifford Winston (The Brookings Institution)

A New Approach to Measuring the Effects of Low-Cost Carrier (LCC) Competition in U.S. and Europe (joint with Jia Yan and Xinlong Tan)

第 59 回 10 月 25 日 (火) 16:50~18:35

※CARF 『バブル、金融危機と政策対応研究会』と共催

Fernando Duarte (Federal Reserve Bank of New York)

1) "How to Escape a Liquidity Trap with Interest Rate Rules"

2) "Financial Vulnerability and Monetary Policy" (joint with Tobias Adrian)

第 60 回 10 月 27 日 (木) 16:50~18:35

Hélène Rey (London Business School)

Financial Cycles with heterogeneous intermediaries (joint with Nuno Coimbra from Paris School of Economics)

第 61 回 10 月 28 日 (金) 8:30~12:10

GRIPS - UTokyo Workshop

共催 : ミクロ実証分析ワークショップ

第 62 回 11 月 1 日 (火) 16:50~18:35

川口康平 (一橋大学)

Industry Dynamics with Bailout Policies: The U.S. Airline Industry after the Deregulation (join with Ken Onishi)

第 63 回 11 月 8 日 (火) 16:50~18:35

※CARF 『バブル、金融危機と政策対応研究会』、マクロ経済学ワークショップと共催

Gadi Barlevy (Federal Reserve Bank of Chicago)

On Interest Rate Policy and Asset Bubbles (joint with Franklin Allen and Douglas Gale)

第 64 回 11 月 10 日 (木) 16:50~18:35

木村遥介 (東京大学)

Heterogeneous Investors、Trading Volume and Bull-Bear Markets

第 65 回 11 月 21 日 (月) 16:50~18:35

※ミクロ実証分析ワークショップと共催

Rasmus Lentz (University of Wisconsin-Madison)

On Worker and Firm Heterogeneity in Wages and Employment Mobility: Evidence from Danish Register Data (joint with Suphanit Piyapromdee and Jean-Marc Robin)

第 66 回 11 月 22 日 (火) 16:50~18:35

佐野隆司 (京都大学)

A Dynamic Mechanism Design with Multiple Deadlines and Multi-Unit Demands

第 67 回 11 月 29 日 (火) 16:50~18:35

中林純 (近畿大学)

Theory、Identification、and Estimation for Scoring Auctions (joint with Makoto Hanazono、Yohsuke Hirose、and Masanori Tsuruoka)

第 68 回 11 月 30 日 (水) 11:30~12:30

Rudolfs Bems (東京大学)

Income-Induced Expenditure Switching

第 69 回 11 月 30 日 (水) 16:50~18:35

Tamim Bayoumi (International Monetary Fund)

Aftershocks of Monetary Unification: Hysteresis with a Financial Twist (joint with Barry Eichengreen)

第70回 12月1日(木) 16:50~18:35

Ponpoje Porapakkarm (National Graduate Institute for Policy Studies (GRIPS))

The Lifetime Costs of Bad Health

第71回 12月6日(火) 16:50~18:35

Alex Teytelboym (Oxford University)

Refugee Resettlement (joint with David Delacretaz and Scott Duke Kominers)

第72回 12月13日(火) 16:50~18:35

松島齊(東京大学)

Mechanism Design in Hidden Action and Hidden Information: Richness and Pure Groves (joint with Shunya Noda)

第73回 12月15日(木) 16:50~18:35

Heiwai Tang (Johns Hopkins University)

Global Sourcing and Domestic Production Networks (joint with Taiji Furusawa, Tomohiko Inui and Keiko Ito)

第74回 12月20日(火) 12:10~13:10

菅谷 拓生 (Takuo Sugaya) (Stanford University)

Bounding Payoffs in Repeated Games with Private Monitoring n -Player Games (joint with Alexander Wolitzky)

第75回 12月20日(火) 16:50~18:35

中田啓之 (University of Leicester)

Endogenous fluctuations and social welfare under credit constraints and heterogeneous beliefs (joint with Maurizio Motolese)

第76回 12月21日(水) 16:50~18:35

※Tokyo Workshop on International Development、ミクロ経済学ワークショップとマクロ経済学ワークショップとの共催

能勢学(International Monetary Fund)

Roles of Guarantees and Fiscal Institution in Enforcing Public-Private Partnership Contract

第77回 1月5日(木) 16:50~18:35

Yi Huang (The Graduate Institute, Geneva)

Public Debt and Private Firm Funding: Evidence from Chinese Cities (joint with Marco Pagano and Ugo Panizza)

第78回 1月10日(火) 16:50~18:35

Chengsi Wang (University of Mannheim)

Search platforms: Showrooming and price parity clauses (joint with Julian Wright)

第 79 回 1 月 17 日 (火) 16:50~18:35

Makoto Watanabe (VU University Amsterdam)

Multiproduct Intermediaries (joint with Andrew Rhodes and Jidong Zhou)

第 80 回 1 月 24 日 (火) 16:50~18:35

Helios Herrera (University of Warwick)

The Marginal Voters Curse

第 81 回 1 月 27 日 (金) 13 : 30~14 : 55

※GSDM セミナーと共催

So Kubota (Princeton University)

Child care costs and stagnating female labor force participation in the US

第 82 回 1 月 31 日 (火) 16:50~18:35

共催 : ミクロ実証分析ワークショップ

Patrick Puhani (Leibniz University of Hannover)

Procedural Fairness and Disparate Impacts - Testing for Discrimination Using Anonymous Entry Exams and Job Performance Measures as Benchmarks

第 83 回 2 月 6 日 (月) 12:10~13:10

主催 : ミクロ実証分析ワークショップ

Chamna Yoon (City University of New York)

Waiting for Affordable Housing (joint with Holger Sieg)

第 84 回 2 月 20 日 (月) 12:10~13:10

Yao Luo (University of Toronto)

Bundling and Nonlinear Pricing in Telecommunications

第 85 回 2 月 20 日 (月) 16 : 50~18 : 35

※GSDM セミナーと共催

Bong Geun Choi (University of Chicago)

What is the Social Trade-off of Securitization? A Tale of Financial Innovation

第 86 回 2 月 23 日 (木) 16 : 50~18 : 35

Serdar Ozkan (University of Toronto)

Child care costs and stagnating female labor force participation in the US

第 87 回 3 月 6 日 (月) 16 : 50~18 : 35

Adriano Rampini (Duke University)

TBA

第 88 回 3 月 14 日 (火) 16 : 50~18 : 35

Brad Larsen (Stanford University)

A Mechanism Design Approach to Identification and Estimation

第 89 回 3 月 15 日 (水) 16 : 50~18 : 35

Ali Hortacsu (University of Chicago)

Searching for Search in Credit Markets

第90回 3月21日(火) 14:00~16:00

Anming Zhang (University of British Columbia)

Port competition with congestion and accessibility -theoretical framework and practical implication

第91回 3月27日(月) 16:50~18:35

Manmohan Singh (International Monetary Fund)

TBA

編集後記

寒さも少し和らいでまいりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。2016年度2号目のニュースレターをお送りいたします。お忙しい中、執筆下さった理事やコンファレンス主催者の方々に感謝申し上げます。来年度もTCERをどうぞよろしく願います。

Newsletterに関するご意見やご感想は代表理事 福田慎一 sfukuda@e.u-tokyo.ac.jp
または総務理事 原 ひろみ harahiromi@fc.jwu.ac.jp までご連絡下さい。

=====

公益財団法人 東京経済研究センター
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-7-10 山京ビル本館 703 号室
Tel & Fax 03-3239-2524 Email: tcer@mbs.sphere.ne.jp